

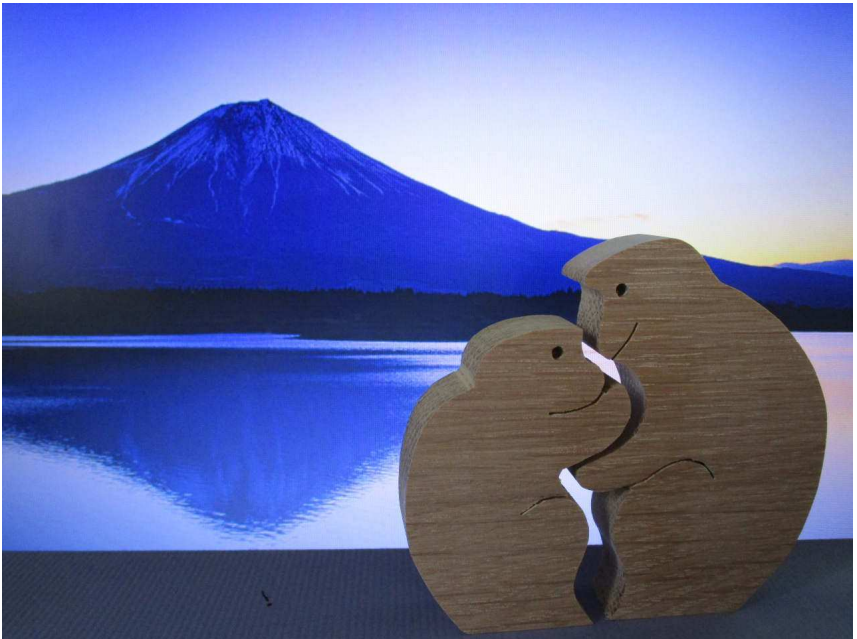
# エスペラント ★

Verda Placo 2016 vintro

みどりのひろば 2016年 冬

N-ro 33

Harima Esperanto-Societo (はりまエスペラント会)



Paro de simioj ligne farita de TADA Rjuĵi

## 第20回ひめじ国際交流フェスティバルに参加

10月25日(日) 10時から15時まで

姫路市大手前公園で行われた。当日ははりまエスペラント会の稲田、塚本、中村、馬場、水谷、多田が参加した。朝からさわやかな秋晴れで少し、風があったが気持ちいいお天気でした。例年のごとくパネルとメッセージカード、飴を準備した。

また、前回好評であったクイズをさらに参加しやすく、3分間コーナーのDVDを見ればわかる程度の「エスペラント・クイズ」を行った。31名の回答があり、以外に驚く内容もあり、もっと、もっとエスペラントを知らしめる必要に迫られる。参加者は比較的若い人が目立ったように感じた。(文 多田)



## 2015年 はりま・神戸合同エスペラント祭を催した。

12月12日(土) 13時から神戸市青少年会館6階サークル室5にて、はりま・神戸合同のエスペラント祭(ザメンホフ祭)をおこなった。神戸から12名、はりまから8名、計20名の参加です。山本登美子さんの名司会で始まった。磯貝さんの開会挨拶、参加者の自己紹介の後、中村雅子さんによる歌唱指導、ウクレレの伴奏に従って、“Vizaĝon supren” ” Se felicias ni” ” Esperanto estas por ni” をみんなで合唱した。本の紹介、書籍の販売と休憩、写真と続いて、水谷監督?制作の「En la Kafejo de Esperanto」発表、馬場さんによる「へいわって すてきだね。」小学1年生 安里有生君の詩をエスペラントに訳し、自作の紙芝居を披露した。塚本さん、磯貝さんが朗読をした。タイのパ



ンコックのエスペラント会とのスカイプによる交流を行った。神戸在住だった田中さんの計らいで、楽しく交流ができた。

今後も機会があればスカイプ交流を続けたいと思います。最後は、はりまの稲田会長から閉会の挨拶で幕を閉じた。

その後、有志で2015忘年会に繰り出した。10名の参加ではりまからは馬場、水谷、多田が参加した。 (文 多田)



## ザメンホフ祭(2015年)に参加して。

### 水谷一志

今年のザメンホフ祭は、僕にとって2回目の参加でした。前回、初めて参加した時は、はりまエスペラント会に入会したばかりで、何も分からず、他の会員の方が上手にエスペラントを使っているのを見聞きして、「すごいなあ」と思ったことを、はっきりと覚えています。

それから1年が経ち、今回の参加となったのですが、正直、僕のエスペラントの能力は、(若干、文法を知り、リーディング力はついたと、自分で勝手に思っはいるものの)1年前とさほど変わってはいませんでした。そのため、また、僕が仕事で忙しく、ザメンホフ祭直前はエスペラントの勉強が全然できなかった、ということもあり、今回も会員のみなさんの、エスペラントでの挨拶を聞いて、自分も、頑張らないとい

けない、と思い知らされることになりました。

また、会の途中で、タイのエスペランティストとの、スカイプでの交流の時間がありましたが、その時も、言葉がうまく出て来ず、自分の中で少し悔しい思いをしました。

(もちろん、交流自体は楽しかったのですが…。) 2016年は、他の外国語も含めてですが、言語や外国の文化に対する意識を高く持ち、努力を惜しまずに、頑張っていきたいと、この時強く思いました。最後になりますが、僕の動画を見てくださったみなさん、本当に、ありがとうございました！



## 私のエスペラント人生 出会った外国のエスペランティストたち(その1)

峰 芳隆

日本エスペラント協会 (JEI) の機関誌 *La Revuo Orienta* 1月号に「私のエスペラント人生 多くの友を得て、ひろがった世界」を寄稿した。しかし、与えられて2ページでは、書くことができなかつたことが多く残っている。とくに、外国の友人たちについては、ほとんど触れることができなかつた。そこで、そのことについて書いておきたい。「回想・ロンド創立の頃」の番外編として。

姫路エスペラント会の最初のお客は、1965年夏、東京で開かれた第50回世界大会に参加したベルギーのケーゲル (Robert de Kegel) であった。当時、姫路市との姉妹都市提携の話が進んでいたシャルルロア市からの訪問者ということで、市役所を表敬訪問。向井孝さんの根回しにより助役などに会いシャルルロア市の市長のメッセージを伝えることができた。これは、翌日の神戸、毎日、読売の各紙で報じられた。

次は、1967年春、ポーランドのシドロヴィッチ (E. Sidrovicz)。各地を回って来て、姫路には4日間滞在、宿泊は向井宅。ポーランドの話聞く会の案内は新聞にも載り、会員以外を含めて20数人が集まった。その報告は当時の会報 *Verda Placo* n-ro 13 (1967年4月) に載っている。

わが家に泊まった最初の人、1971年スウェーデン在住のノルウェー人ニコライセン (O.Nicolaisen)。シベリア経由でマレーシアへ避暑

に行く途中に立ち寄ったという初老の男性だった。私が結婚する前で、母は料理に苦勞したようだ。家の中では靴を脱ぐという生活に馴染めず、足の裏から風邪を引いたをこぼしていた。

結婚後、母が亡くなってからは、いろいろな人を受け入れた。新婚旅行のフランスの若い医師夫婦、ハンガリー人のエルトゥル (Istvan Ertle) とフランス人の妻のカップルも。いずれも、友人からの紹介であったが、エルトゥルさんは、その後、世界エスペラント協会 (UEA) 機関誌の編集長を務め、現在はルクセンブルグに住んで、EUの仕事をしている。また、お城を案内したイスラエルのワンデル (Amri Wandel) も、のちにUEAの理事を務めたが、彼らとは世界大会で再会した。

文通相手で来訪したのは、アメリカのミネルバ (Minerva Rees- Massen) とハンガリーのベンチュク (Vilmos Benczik)。ミネルバさんは、小学校教師で、1967年11月焼身抗議をした由比忠之進がジョンソン大統領に宛てた手紙をエスペラントから英語に訳してくれた。宮本正男と相談して、それを印刷。そのことを新聞に投書したら、英語の教材に使いたいという教師が何人かあった。なお、宮本さんが日本語に訳したものは、岩波の月刊誌『世界』に



に<写真 : la familio de Benczik>

掲載された。ミネルバさんが、夫婦で来たのは1980年。当時、わが家にはベッドは無く、畳の間に敷いた布団で寝るのは初めての経験だったそうである。ベンチュクは、彼が編集していた雑誌 *Hungara Vivo* の取



<写真 : geedzoj Ertle>

次ぎをするなどの長い付き合いで、1980年には私の個人出版 *La Kritikanto* の第3冊目として彼の文芸評論集 *Studoj pri la esperanta literaturo* を出した。しかし、*La Kritikanto* 社は、その後が続かず、3冊の本も長い間、売れずに残っていた。ベンチュクさんは2回来た。1980年は

ひとりで、次に1994年の夏、ソウルの世界大会に参加した帰りに妻 Maria と娘 Monika を連れて来訪。広島原爆資料館を Monika に見せたいとのことで、私も夏休みで沖縄から帰省していた娘を伴って同行した。そのとき、彼と話したことは、当時編集していた *Interkultura Revuo Riveroj* に掲載した。彼には、退職後ハンガリーを旅行した時に再会し、ブダペストの自宅に案内してもらった。教師のかたわら、エスペラント誌編集制作の経験を生かした出版を副業として、混乱した社会をたくましく生きていた。(daŭrigo en la sekvanta numero)

**Paco estas tre bela. ...へいわって すてきだね。**

**詩 安里有生 (あさとゆうき) 小学1年生**

**エス訳 馬場祝栄**

1. Kio estas paco? Mi pensas.
2. Esti familiara kun amikoj. Sanaj familianoj. Ridante ludi.
3. Kato ridas. Esti sata. Kapro paŝas komforte, malrapide.
4. Se kvereli tuj repaciĝi.
5. La herboj longevivulaj multe kreskas. Jonaguni-ĉevaloj blekas hihi-n.
6. Pramŝipo ankriĝas en la haveno. En la maro naĝas kelonioj kaj ksifioj.
7. El milda koro fariĝas ĉielarko. Paco estas bona. Paco estas ĝojiga.
8. El ĉies koroj paco naskiĝas.
9. Milito estas terura. “dodo-n doka-n” Kun terura sono bomboj falas.
10. Infanoj malsataj kaj suferaj. Familianoj mortas kaj homoj ploras.
11. Ah, mi estas feliĉa ĉar mi naskiĝis tiam, kiam la mondo estas paca.  
Mi volas “ĉi tiu paco daŭru longe. Ĉies ridetoj daŭru longe.”
12. Paca familio. Paca lernejo.
13. Paca Jonaguni-ĵima. Paca Okinavo.
14. Paca mondo. Paco estas tre bela.
15. Mi deziras ankaŭ de nun la paco, pace daŭru longe.
16. Ankaŭ, mi klopodos por tio fari kion mi povas.

## 国際交流スプリングフェスティバル参加のご案内

日時：3月5日（日）午前9時半（第100回世界大会ビデオ）  
午後1時半～3時半（入門講習会）

### **\*タイのバンコックエスペランチストとスカイプ交流**

場所：「イーグレひめじ」セミナー室C

昨年のザメンホフ祭で交流した、バンコクの田中一喜さん中心のバンコックのエスペラント会との交流をスカイプで行う予定です。皆さんの参加をお願いします。また、質問等も用意をお願いします。

### **エスペラント会の皆さんへ JEI(日本エスペラント協会)より**

#### **八ヶ岳エスペラント館、総括と来年の方針**

11月13日（金）～14日（土）、エスペラント館閉館会議が開かれ、今年度の反省、来年度の方針を議論しました。

**1. エスペラント館の開館期間中はすべて初日は2500円、二泊目以降は1000円とする。またこれまでの割引制度は廃止する。**

#### **2. 設備の更新**

#### **3. 運営委員の増員、ライセンス所有者の増加を目指す**

現在運営委員は、11人で、これでは、館の運営に支障も来たしますし、従来やってきた運営委員による当直も出来なくなります。そこで、運営委員を増やしたいと思いますので、八ヶ岳館に関わってみたい方の参加を希望します。

また、平日利用を促進するために、館の利用を運営委員の当直なしでできる「ライセンス所有者」を増やしたいと思います。そこで、エスペラント館で行われるすべての行事の際に、可能な限りライセンス講習会を開いて、ライセンス所有者の増加を図ります。

来年度も、多くのエスペランチストに利用していただきたいと思えます。

詳しくはJEIにお問い合わせください。

**学習例会の記録** Kie, kiam, kiuj kunvenis kaj kune lernis?

＜姫路：イーグレ第4会議室＞学習例会は午後1時半～4時

10月10日(土) 中村、三鍋、塚本

10月22日(木) 中村、大前、三鍋、馬場、中川、

11月26日(木) 中村、大前、馬場、山岸

12月24日(木) 中村、大前、三鍋

CDエクスプレスと“Liza kaj Paŭlo”

土曜日は水谷会員中心の学習。

＜加古川：加古川総合文化センター＞学習例会は午後2時～4時

11月15日(日) 休会

作文課題の復習、“Katrina malfruas”の輪読、訳 k t p

＜Skajpo＞学習は毎週水曜日 20時～21時

10月7, 14, 21, 28日 11月4, 11, 18, 25日

12月2, 9, 16, 23, 30日

Paco estas tre bela!、pri mia semajna okazaĵo

**今後の予定** Kie, kiam ni kunvenos?

★姫路 (第4木曜日、午後1時半～4時、イーグレ第4会議室)

1月28日、2月28日、3月24日、4月28日

\*月1回土曜日午後にボランティア室で学習会の予定

★加古川 (午後2時～4時、加古川文化センター第3会議室)

2月21日、4月17日、6月19日

“Turismo en Harima regiono” 作成予定

★Skajpo (毎週水曜日 20時～21時)

**編集後記：Feliĉan novjaron!**

新年皆様はどうお過ごしでしたか？今年は大変お天気の良い三が日でした。今年、エスペラント語勉強も熱が入るような気がします。いっそう、エスペラントの学習に励みたいところです。

当面のスプリングフェスティバルを頑張りましょう。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

“Verda Placo” (みどりのひろば) n-ro 33 2016年 1月15日

発行：はりまエスペラント会 Harima Esperanto-Societo

(671-1222 姫路市網干区宮内 106-3 福田正昭)

編編集：多田龍二 明石市西明石町5-6-2 [truyuji@sky.plala.or.jp](mailto:truyuji@sky.plala.or.jp)



